



アパレル企業向け 商品需要予測コンサルティング

[気象DX]_No4_01

近年の長引く猛暑などの気候変動によりアパレル商品の売れ行きが変動し、多くの企業が発注量・生産量等の大変な判断に悩まれています。日本気象協会では、最長2年先までの長期気象予測やデータ解析技術をもとに、アパレル企業様の持つ課題解決をサポートします。

DX化に対応する気象データ活用をサポート

MD計画の作成や生産量・発注量の決定など、販売開始1年以上前からお取組が必要な分野から、販売開始後の終売に向けた最適な棚割りやマークダウン計画による利益率の最大化などを目指す取組の分野まで、気象データの活用方法をサポートします。

具体的には、気象と商品の関連分析やピークイン／アウトの可視化、需要予測、要因分析など貴社の課題にそった具体的なソリューションをご提案いたします。

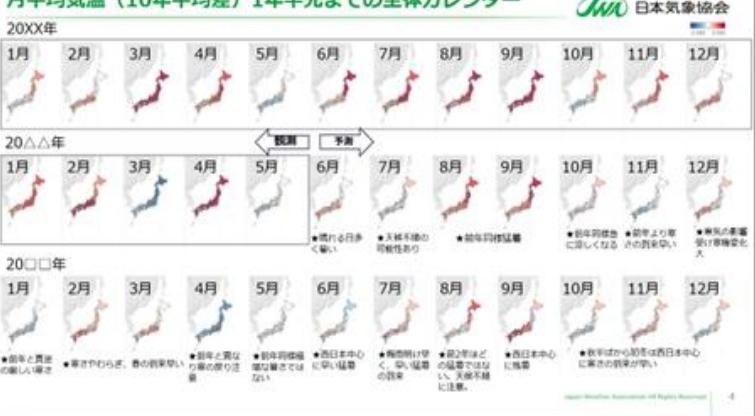
最長2年先まで、長期気象予測が可能に！

20XX年サマリー

	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
気温	1月寒波 2月以降暖かい	4月寒の戻り 5月以降暑い	暑さの到来早く 残暑が長い	
降水量 日照時間	1月は乾燥 2月以降は雨雪多い	晴れが多い	晴れが多いが 8月は多雨寡照	
台風				
梅雨		梅雨入り・梅雨明けとともに 早い傾向		

日本気象協会

月平均気温（10年平均差）1年半先までの全体カレンダー



日本気象協会では、最長2年先まで気象予測を行っています。提供形式は、「データ配信」もしくは「レポート配信」。レポートでは、年間の天候サマリー・予測の根拠の解説や、気温分布について、前年との比較ができる項目等、**気温・降水量・日照時間・台風接近数・梅雨明け時期の5項目について**、長期的な気象予測を提供しています。従来の長期予報（6か月）では実現できなかった長期の予測を、新たな手法により精度高く実現することに成功しました。

最長2年先までの気象予測があることで、事業計画、経営計画、マーケティング計画、商品企画、調達計画、生産計画などの長期計画策定において、根拠ある意思決定を支援いたします。

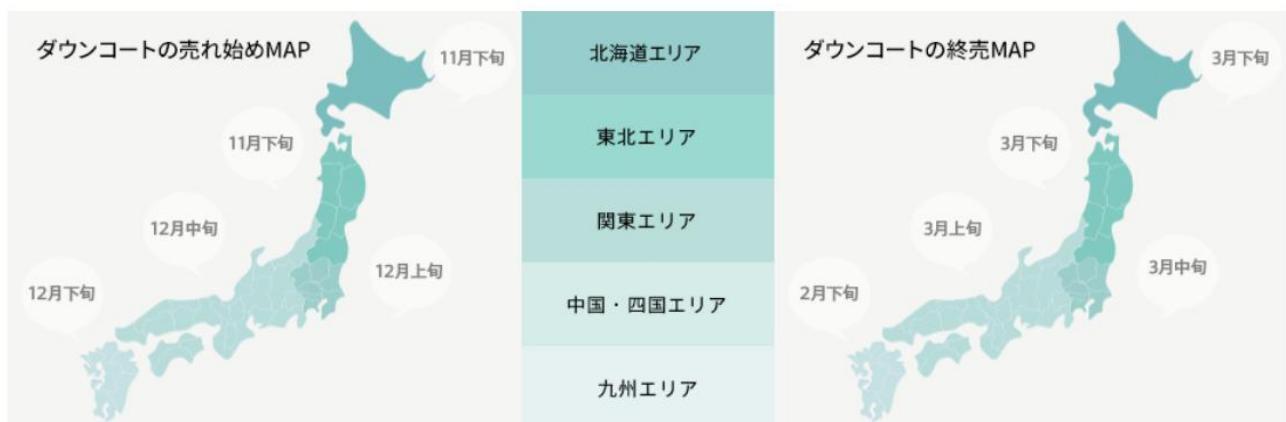
アパレル企業向け 需要予測コンサルティング

気象と商品の関連分析（気象感応度調査）

商品の売上データ×気象データで解析を行い、時期別・エリア別に気象との関係を可視化します。どのアイテムがいつ頃から気温に反応して売れ始めるのかなどが分かり、長期予報と組み合わせて活用することで、前年より早め（遅め）に展開すべき商品や、多め（少なめ）に展開すべき商品などのデータによる確かな判断をすることができます。



ピークイン/アウトの可視化



売上データと気象データを解析し、長期予報と組み合わせることで、どのアイテムがいつ頃立ち上がるのかやピークイン・ピークアウトのタイミング、終売がいつ頃になるかの販売推移の予測を最長2年先までご提供することができます。週次の気温予測と一緒に確認いただくことで、季節の進みが前年や例年と比較して早いか遅いかなど季節の変わり目のタイミングなども把握いただきながら、納得感をもって店舗運営や販促の最適化にご活用いただけます。

その他、特定のアイテムがどのくらいの数量売れるかを定量的に予測する需要予測サービスや過去にどのような要因でその商品が売れたのか（気温による要因が〇%、マークダウンによる要因が〇%など）を可視化する要因分解レポートサービスなど、お客様の課題に寄り添ったサービス提供が可能です。お気軽にお問合せ下さい。



気象DX事業部 気象デジタルビジネス課

Tel:03-5958-8154

<https://weather-jwa.jp/contact/?inquiry-type=10>

〒170-6055

東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 55F
一般財団法人 日本気象協会

ご案内はこちら

